

土佐希望の家通信

<発行>重症心身障害児(者)施設 土佐希望の家 高知県南国市小籠107 TEL 088(863)2131/FAX 088(863)2133/
 http://www.tosakibou.jp Email:tosakibo@i-kochi.or.jp 発行責任者 門田 正坦 編集責任者 中屋 淳

HAPPY LIFE
 家族の窓
 No.15
 中沢志津子様
 2病棟棟東



5月3日～5日、2泊3日の春休み、久しぶりの帰宅です。最初は心細く思いましたがなんとか家族で3日間機嫌も良く過ごすことが出来ました。昨年亡くなったお父さんに帰宅の報告、元気な笑顔をみてもらいました。

今思えば昔は子供の夏休み冬休みは家族にとっても又本人も嬉しい帰宅でした。朝から一日中食事、洗濯に追われ、台所はミキサー、すりこぎと献立に忙しい思いをしたことです。今から思えば若かったせいもあつたかな。自分なりに充実した日が送れたように思います。今でもあんなにこんなにやりたい気持ちがあります。色々と話をしながら本を持たず、指の感触に得もいれない笑顔。ボードキーに指を触れ時折音を楽しんでいます。とにかく元気でいてほしい。近頃では笑顔も笑声も多くみられ、私にとっては何よりの幸い。週一度の面会に園に向かう足どりも軽い毎日です。



ちよこい話

2病棟療育 信清美智子

奥ゆかしく上品を旨とする橋本栄治さん。何か食べた時でも、「おいしい」と職員が問えば「おいしい」と控えめに、そうでない時には静かに首を振るのが橋本さんの答えです。先日の入浴日、身体を洗ってシャワーのスイッチを入れ、お湯が出始めた時の職員とのやり取りです。

橋本「気持ちいい」
 職員「えっ？気持ちいいの？なにが気持ちいいの？」
 橋本「かけ湯が気持ちいい」
 職員「かけ湯？かけ湯が気持ちいいの？」
 橋本「うん」

かけ湯という懐かしい響きと橋本さんの「気持ちいい」の一言に職員もほっこり温かく嬉しくなりました。そういえば、先日の外出で某有名店のケーキを一口食べた途端に「美味しい！」と一言。職員を驚かせてくれました。入所者の方から「気持ちいい」、「美味しい」、「嬉しい」という言葉をもっともっと聞かせてもらえよう頑張ろうと思わせてくれた1コマでした。

かけ湯が
 きもちいい♡



私の仕事 (13)



家政主任
 門田和子

原稿の依頼を受けた時、どうして私にと正直、困りました。小谷部長に「今、思っている事を文章にすればいい」と励まして頂きました。家政は、利用者の皆さんが快適に暮らせるように、掃除、洗濯、簡単な縫物等の仕事を担当させてもらっています。地味な仕事ですが、たかが家政されど家政で「縁の下」の力持ちだと信じ(自画自賛)、毎日頑張っています。

利用者や職員の皆さんに、家政はなくてはならない部署だ！と思ってもらえるようにフットワーク軽く、利用者の方を第一に考えて仕事が出来るように、利用者の皆さんのお陰で仕事をさせて頂いているという初心を大切に家政一同これからもやっていきたいと思えます。どうか家政を応援してください。これからもよろしくお願ひします。



卒業式

三月十一日(金)若草養護学校土佐希望の家分校で卒業式が行われました。土佐希望の家利用者の方々もたくさん卒業されました。おめでとうございます。

- 【小学部卒業】
 松田まなか様 (2病棟)
 横山杏奈様 (2病棟)
- 【中学部卒業】
 山本純奈様 (2病棟)
 岩村愛子様 (3病棟)
- 【高等部卒業】
 高橋利佳様 (1病棟)
 森尾田様 (2病棟)



入学式

四月八日(金)には入学式が行われて、たくさんフレッシュな新入生の皆さんがいらつしやいました。これから新しい学校生活が始まります、みんなで頑張っていきたいと思います。おめでとうございます。

- 【小学部入学】
 吉本裕香様 (1病棟)
 平田彩奈様 (2病棟)
- 【中学部入学】
 松田まなか様 (2病棟)
 横山杏奈様 (2病棟)
- 【高等部入学】
 山本純奈様 (2病棟)
 岩村愛子様 (3病棟)
 前田泰則様 (3病棟)



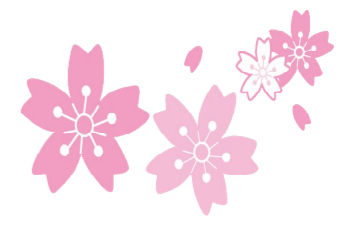
お花見カラオケ大会



四月十日(日)、お花見カラオケ大会をしました。毎年春には恒例となりましたね。各病棟からぞくぞくとカラオケ自慢の皆さんが出場してたくさんのお歌をみんなで歌いました。



「」厚意



ありがとうございます。
 今後ともよろしくお願ひします

☆ 編集後記 ☆
 春のお花見カラオケ大会は毎年恒例になつて、今年も全病棟参加で楽しい1日でした。6月6日にはこちらも恒例の希望の家ロードレース大会がありますので、お楽しみに。

【寄付金・寄付物品】
 齋尾大丈夫様 三木和彦様 田中博様 小林豊様 後免地区社会福祉協議会様 北村忠司様 SDA高知キリスト教会様 楠瀬昌子様 北村俊幸様 ヤクルトKK様 後免地区社会福祉協議会様 和田直和様 福原千江様 天理教潮分教会様 原知佐様 浜田利久様 野崎勝久様 木村利夫様

平成 23 年度 事業計画(重点目標)

法人全体

- ① 今後に予想される制度改革について、情報の収集に努め、将来の事業の在り方の検討を進める。
- ② 業務に当たっては、法令を遵守するよう徹底する。
- ③ 上司と部下の役割を明確にし、報告・連絡・相談の徹底を図る。
- ④ 職員ひとり一人が、理念の実現に向けて、私たちの行動指針を実践するよう徹底し、良質な医療と豊かな暮らしを提供する。
- ⑤ 在宅支援に積極的に取り組む。
- ⑥ 研修に積極的に取り組み、各専門領域における技術や知識の向上を図る。
- ⑦ 与薬ミス、骨折事故の減少と、院内感染の防止に努める。
- ⑧ 保護者とのコミュニケーションを密にする。
- ⑨ 制服を変更し、新しい制服の着用を徹底する。
- ⑩ 個別支援計画に関する取組を充実する。
- ⑪ 施設内の整理整頓を徹底する。

重症心身障害児施設

1 事務部

- ① 制度改正に関する情報収集に努め、的確に対応する。
- ② 本年度を世代交替の1年と位置付け、確実に業務を引き継ぐ。
- ③ 事務職員としての基礎知識を身に付け、法令遵守の姿勢を持ち、理解して取り組むように指導する。
- ④ 報・連・相の徹底を図る。
- ⑤ 業務の効率化、迅速化、適正化に努める。
- ⑥ 駐車場を整備する。
- ⑦ 職員の接客能力を高める。

2 医務部

(1)リハビリ

- ① 重症児(者)リハビリテーションの専門知識の向上に努めるとともに、他職種との連携を密にして、1日15単位を目指して取り組む。

(2)検査

- ① より深い検査の知識と技術習得に努め、精度の高い検査値の報告が出来るように努める。

(3)薬剤

- ① 調剤ミスの防止に努め、後発医薬品の採用を再検討し、提案する。

(4)給食

- ① 給食設備と食材の衛生管理を徹底し、食中毒の予防に努める。
- ② 利用者の栄養ケアマネジメントと栄養計画に基づく個別対応の食事の充実に努める。

2 看護部

(1)共通

- ① 利用者への関わりを増やし、利用者の思いが理解できる看護を目指す。
- ② 異常の早期発見や重症化に対応できるよう技術を高める。急変時を想定したシミュレーション訓練や学習会を行う。
- ③ 人材育成の取り組みを充実する。
- ④ 生活支援基準を取り入れた看護を行う。

(2)1病棟

- ① 看護・療育間の情報交換や意見交換を密に行い、利用者の生活水準の維持・向上に努める。
- ② 利用者の異常の早期発見と早期対応に努める。
- ③ 感染症の予防と拡大防止に努める。
- ④ 保護者との情報交換を密にし信頼関係を築く。

(3)2 病棟

- ① 疾病異常の早期発見や予防を行いながら、重症化や急変時等に対応する。
- ② 看護技術のスキルアップを図る。
- ③ 思いやりや気づきのある看護を行う。

(4)3 病棟

- ① 利用者の高齢に伴う異常の早期発見や、急変時に対応が的確に出来るように取り組む。
- ② 利用者とのコミュニケーションを深めて、ニーズに合わせた援助をする。

4 療育部

(1)共通

- ① 「笑顔をユニフォームに！」仕事をする。
- ② チームワークを良くする。
- ③ 利用者の健康、安全を守り、事故・誤業防止に努める。
- ④ 生活支援基準をもとに、より質の高いサービスと利用者によさしい介護をめざす。
- ⑤ 個別支援計画書の作成、保護者の同意、実施、記録、モニタリングの流れを確立する。
- ⑥ 利用者の自己選択、自己決定を大切にされた支援を行う。
- ⑦ 福祉用具・機器の活用をすすめ、やさしい介護をめざす。
- ⑧ 人材育成の取り組みを充実する。

(2)1病棟

- ① 散歩、日光浴、外気浴の回数を増やす。
- ② 介護基本技術を活用した生活支援に取り組む。
- ③ 生活支援基準を浸透させる。

(3)2病棟

- ① 関わりを多く持ち、利用者の笑顔をつくる。
- ② 生活支援基準に基づいた優しい介護を行う。
- ③ 福祉用具・機器の活用をすすめる。
- ④ 日中活動の充実をめざす。

(4)3病棟東(あざみ)

- ① 介護の基本姿勢を徹底し、利用者の個別化を尊重した支援を行う。
- ② 業務の標準化を行い、誰がしても同じ介助が出来るように努める。
- ③ 利用者のニーズを考慮し、日中活動を充実する。
- ④ 職員の資質の向上を目指し、積極的に研修に参加する。
- ⑤ プライバシーに配慮した生活環境の向上に取り組む。
- ⑥ 3病棟東・西で夜勤回数の平均化に向けて取り組む。
- ⑦ 利用者の自己選択、自己決定、自己実現をめざした支援をする。

(5)3病棟西(ひまわり)

- ① 居室グループ担当制の役割を明確にして支援を行う。
- ② 個別ケアの見直しをすすめ、利用者のやりたいことや好きなこと(自己選択、自己決定)、ライフステージを大切にされた個別支援計画を立てる。
- ③ チームワークを大切に、利用者一人ひとりをチームで支える。
- ④ 利用者個々に適したポジションングに取り組む。
- ⑤ 職員のスキルアップめざし積極的に研修に参加する。
- ⑥ 3病棟東・西で夜勤回数の平均化に向けて取り組む。

相談支援部門

相談支援事業

在宅重症心身障害児(者)相談支援事業の契約のない県内対象域の市町村との契約を目指し、在宅の重症心身障害児(者)の相談支援を充実する。

障害児等療育支援事業

学校や保育所からの療育技術の指導の要望に応える。

通園部門

生活介護事業・B型通園事業

- ① 個別支援計画の作成と面談、モニタリングをしっかり行い支援の充実を図る。
- ② 利用者数の増加に取り組む。
- ③ 利用者の重度化に対応できる介護技術を習得するために、PT・STの指導を受け、積極的に研修に参加する。
- ④ 送迎・入浴サービスの希望に応えられるように努める。
- ⑤ 利用者一人ひとりにあった取り組みに努める。



あざみ一泊旅行



【メンバー】

上村立雄様、榎尾弥佐様、川村節子様

【行き先】

幡多希望の家
四万十ロイヤルホテル宿泊

若かりし頃一緒に暮らし苦楽を共にした友人達に会い幡多希望の家に行ってきた。行きバスの中から大盛り上がり。「あの人はどうしようろうねえー」「元氣やろうかねえ。」と昔を思い出しながら高速道路を西へ西へ。あつという間に中村へ。中村では少し買い物をして、ホテルでゆっくりして、ごちそうを頂き、夜の中村の町にみんなで繰り出しました。中村出身の職員が2人いたので「ここは〇〇君の家」このアパートは元彼がおった」など昔の思い出話に花を咲かせながら散歩しました。2日目いざ幡多希望の家に出発。まずまず気分も高まり昔を思い出しているとあつという間に到着です。なつかしい顔・顔・顔！久しぶりの再会に嬉しくて嬉しくて。そして面会日だったので、保護者の方にも会うことができて、二重の喜び涙涙の再会でした。

昨年、龍馬ブーム。随分高知も全国的に有名になり、賑わったのは皆さんご存じの通りです。しかし、この土佐希望の家の近くには、もう一人の有名人が居られますね。中学校の時、社会科の歴史や、国語の古典で習った平安時代の有名人。「紀貫之」さん。私も、昨年春、土佐希望の家に赴任し古代の国司様に「ご挨拶をとのこと、自転車を借り希望の家から西島園芸団地の横を抜け、国分川に架かる橋を渡り、土佐国分寺へ。うららかな春の日。よく見ると、レンゲソウが咲く田圃の水路や遍路道は直角に曲がっている場所も多く、古代の条里制の名残を示しています。遠くでは、鯉のぼりやフラフが青空のなかをはためいていました。土佐国分寺は二十九番札所。うっそうとした樹林に囲まれた寺域には天平の名残を留める塔の礎石や築地の跡と思われる土塁の高まりがあるとのこと。

土佐の国衙の跡は現在、礎石も何も残っておらず、ただ古い小字名が残っているばかり。紀貫之が居住していたという国司の館あとも今は古今和歌集に所縁の植物を植えた庭園になっています。北の方に広がる山並みを眺めながら、彼はどんな風景を見ていたのだろうか」と古代に思いをはせました。

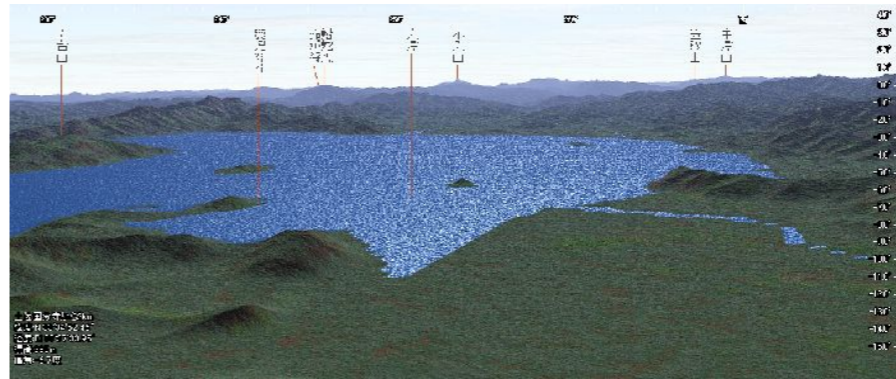


写真2

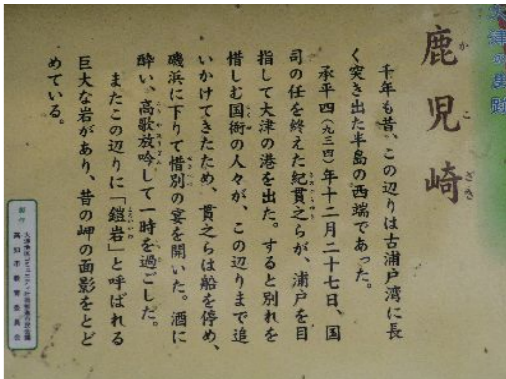


写真1

彼の著した有名な「土佐日記」は、任地の国司の館を離れて都に戻るまでの記録ですが、12月27日の記載で、「鹿見崎」と言うところまで、土地の方たちが見送りにきたので、上陸し、お酒を酌み交わして別れを惜しんだことが記載されています。

この場所は現在「鹿見神社」という神社になっていて、(写真1)のような案内板がみられます。このあたりの標高は地図で調べると海抜1メートルあまり。神社の北側は土佐電鉄の路面電車の停車場「田辺島駅」となっていて、すぐ北側を舟入川の水路が通り、その北側は田圃と住宅地が広がっている現状です。ここに、彼が上陸したときはどんな風景が見られたのだろうか」と想像してみました。数値地図というものがあります。場所の情報を東経、北緯、標高の3つで表した地図で、皆さんのお世話になっているカーナビもこの応用ですね。

この数値地図で、現在海抜1メートルの位置を当時の海水面として計算し風景を描いてみました。視点の位置は土佐希望の家の上空約300メートル。西の方を眺めてみた図です。

これが写真2です。成程、古代には、五台山の北側、ずっと奥まで海水面が広がり、鹿見神社は古代の浦戸湾に突き出た半島の西端に位置することがわかりますね。

この、土佐には古い素晴らしい文化や遺跡が残っています。今からのよい季節、自転車や徒歩でゆっくり訪ねて郷土の歴史の深さを楽しむのもいいですね。

今回はこの鹿見神社付近からみた現況と、当時の風景の推定図をご紹介しました。